

みんなで描く、与原公園！ 第1回ワークショップを開催

詳細



7月5日、第1回与原公園ワークショップが開催されました。「与原公園のコンセプトを考えよう！」をテーマにグループワークを行い、魅力的なアイデアが多数寄せられました。ワークショップの内容はホームページに掲載しています。また、今回いただいたアイデアをもとに、今後の公園づくりに向けたアンケート調査を実施します。魅力的な公園づくりに向けて、ぜひ皆さまの想いをお寄せください。



小学生が地球の未来を考える Jリーグ環境教育授業を開催！

6月30日、馬場小学校5年生を対象に、ギラヴァンツ北九州の北出尚大さん（Jリーグ気候アクションアンバサダー）による環境教育授業が行われました。児童たちは、気候変動による講義やアニメを視聴し、グループで意見交換。地球温暖化によりスポーツができなくなる将来に危機を感じ「自分たちにできることを実践していきたい」など地球環境の問題を自分ごととして捉え、未来の行動を考える機会となりました。



女性の活躍推進優良事業者を表彰 働く人を大切にする企業の取り組み

男女が仕事と家庭を両立できる環境づくりを推進するため、優れた取り組みを行う事業者を対象とした女性の活躍推進優良事業者表彰が6月25日に行われました。今年は白寿会、北九州陸運の2団体が受賞。ライフステージに合わせた辞めなくていい職場作り、資格取得支援などが高く評価されました。受賞者は「性別に関わらず活躍できる環境をさらに整え、職員やその家族の健康を優先しながら、女性職員の活躍について改めて考えていきたい」と語りました。



高橋恭三さんが藍綬褒章を受章 長年にわたる更生保護活動が評価

平成15年から保護司として、犯罪や非行をした人の社会復帰支援や再犯防止に尽力してきた高橋恭三さんが、令和8年春の藍綬褒章の受章を7月6日に町長へ報告しました。藍綬褒章は、社会奉仕活動で顕著な功績を残した人に国から贈られる章です。高橋さんは「対象者を仲間として見て、人間同士としてどう付き合えるかを心掛けてきた」と活動を振り返り、町長は長年の献身的な活動に深い感謝の意を伝えました。



まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

暮らしを支えるごみ収集！ 与原小4年生がごみ収集を学ぶ

6月8日、与原小学校4年生が環境学習の一環としてごみ収集車を見学しました。児童たちは、ごみが収集車の内部に吸い込まれていく様子を興味津々に見学。その後の質疑応答では、たくさんの質問が寄せられ、ごみ収集業者と町職員は「ごみを減らすためには、一人ひとりがごみの分別をきちんと行うことが大切です。みんなで協力しましょう」と語りました。児童たちはごみの分別やリサイクルの大切さを学びました。



子どもたちの願いを乗せて 馬場小4年生がホタルの幼虫を放流

7月8日、馬場小学校の4年生が殿川上流でホタルの幼虫約3,000頭を放流しました。幼虫は、地域の環境保全に取り組む「殿川とホタルを守る会（松岡麻利子会長）」の指導のもと、児童が卵のついたコケを約1か月間大切に世話し孵化させたものです。これから8か月間を川の中で過ごします。児童たちは「来年5月には、殿川で元気に飛ぶホタルが見られますように」と、願いを込めて優しく見守っていました。



地域を照らす幻想的な光 竹灯籠・紙灯籠が点灯！

6月30日、日産自動車九州(株)主催「七夕竹灯籠」の点灯式が開催されました。このイベントは、地域との共生を目的として毎年実施されており、今年で6回目の開催。同社正門前広場には、従業員の皆さん手作りの竹灯籠と町内の小学5年生が作成した紙灯籠が並び、優しく幻想的な光に包まれました。点灯は日没～翌午前2時、7月31日㊿までです。ぜひ現地で温かい光に包まれた竹灯籠・紙灯籠をご覧ください。



町内3か所で啓発グッズを配布 社会を明るくする運動 街頭活動

7月1日「社会を明るくする運動」の強調月間に合わせ、町内3か所で街頭啓発活動が行われました。当日は、犯罪や非行からの立ち直りを支援している保護司の皆さんをはじめ、副町長や教育長、関係団体が参加。苅田駅や町内の商業施設でリーフレットや啓発グッズを配りながら、犯罪や非行をした人たちの再犯防止と、地域全体で立ち直りを支えることの大切さを呼びかけました。

